

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第5回上尾市図書館協議会	
開 催 日 時	令和2年2月17日（月）午後1時35分から午後3時35分まで	
開 催 場 所	上尾市図書館本館2階 集会室	
議長(委員長)氏名	代島常造	
出席者(委員)氏名	須賀聡、北川悦子、佐々木智美、加藤寛子、宮内礼子、代島常造、若松昭子、清水松代	
欠席者(委員)氏名	岸清俊、市河利之、藤波貢、城所典子	
事務局(庶務担当)	島田館長、山内主幹、石川副主幹、内山主査、吉野主査、朝見主事	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	上尾市図書館の在り方検討について	別紙「議事の経過」のとおり
議 事 の 経 過	別紙「議事の経過」のとおり	傍聴者数 10名
会 議 資 料	資料1 検討スケジュール（再調整） 資料2 上尾市図書館の今後の在り方について（答申案）	
<p>議事のでん末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">令和2年4月2日署名済み</p> <p style="text-align: center;">議長（委員長）の署名 _____</p>		

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	議事 上尾市図書館の在り方検討について
議長	答申案について意見、修正箇所はあるか。
A委員	1の(4)イについてだが、抽象的で具体性に乏しいと感じる。 前回、問題があると指摘されたのは、築30年を超える5館(本館、平方、原市、上平、瓦葺)のうち、原市を除いた4館であった。 その中で、上平は検討が進んでいるが、本館、平方、瓦葺は今後どうなるのか早く検討した方がよいと思う。
事務局	具体的なことについては在り方の中でもらった意見を、今後、市の計画の中で進められればよいと考えている。 もう少し具体的に記載できるものがあれば追加するので、検討させてもらいたい。
B委員	去年の夏に分館を視察したが、平方分館と瓦葺分館は老朽化している。 平方分館の近くには西上尾第二団地があり、瓦葺分館の近くには尾山台団地があるが、団地は高齢化が進んでいる。 子供も少なくなってきていて、高齢化・少子化が進んでいる中、建て替えではなく、どこか別の場所を探して建てるといったことはあるのか。
事務局	そのような検討は行なっていない。 今後、場所を探していくことは可能なので、在り方に盛り込まれれば、それに基づく検討がされると思う。
議長	分館・分室の在り方に立地や建物面の問題があるが、前回の議論で、「近くに分館に行っても新刊が少なく、新聞がない。」との意見があった。 新刊が入らないとか、新聞がないというのは、図書館という機能が一段下がり倉庫のようになっている、ということである。図書の受取カウンターの機能しか果たしていないという実態がある。 分館のサービスは、新しい情報が常に供給されているかが生命線であると思う。 限られた財源なので、本館に集中的に投下することは分かるが、新しい図書が供給されないことは問題である。地域に住んでいる人にとっては唯一の分館であり、新しい本が来ないのは不公平である。 分館のサービスとして一定水準が確保されるような方策を検討してほしいと思う。
事務局	在り方に反映できるか検討する。
議長	分館が多くあり、それぞれ均等に新刊や新聞を入れることは、お金がかかる話である。 お金がないのであれば、本当に今の数の分館を維持しなければならないのかという問題も、検討の対象にせざるを得ない。 一定水準を保つために、近くに分館をまとめたりして、新しい図書が供給できる範囲での分館数を考えていくことがあってよいと思う。
C委員	言葉の使い方だが、「望みます」「望まれます」「期待します」という文言が多い。 答申として我々が出すものであり、こういう文言になるのはやむを得ないと思う

	<p>が、少し迫力に欠けるような感じがする。 例えば、司書の配置については重要なことで、上尾市に欠けていると思う。 司書を各館配置することについてどれだけ市民が望んでいるのかということもあるが、そこは売りであると思うので、文言を強く表現した方がよいと感じた。</p>
副委員長	<p>「望みます」の前に、「こういうことが極めて重要だから」というような言葉を入れたりして強調するのはどうか。</p>
事務局	<p>語尾について検討し、統一する。</p>
副委員長	<p>1の(4)イだが、本館について触れられていない。 本館は老朽化していて、手狭であるなどの理由で新しい本館を作る計画が出されたが、結局、その新本館建設の計画はなくなった。しかし、今回改めて議論がなされていない。分館について、いろいろ検討を進めて欲しいということだけではなくて、本館についても当然、どのような進め方がよいのかということが議論されなければならない。 特に本館は、図書館ネットワークの中心拠点であり、上尾市の社会教育の拠点ということになる。できるだけ人々が集まりやすい場所、そういうことをもう一度新たに考え直すなど、スタート地点に立って考えていくべきであると思う。 地域の活性化、にぎわいの創出といった効果も期待しながら、新しい本館の今後ということをぜひ考えてほしい。</p>
事務局	<p>新図書館複合施設建設計画の見直しがあったが、本館は老朽化、手狭などの課題は、解消されていない。これらの課題を解決するためには、在り方に盛り込み、実行に向けて取り組んでいく必要がある。施設ありきではなく、どのようなサービスを行うのか、そのためには、こんな施設が必要との考え方であると思われる。しかし、今直面している本館、分館等の施設の老朽化などの課題は早急に対応しなければならない問題でもあり、サービスの方向性と併せ、在り方に盛り込んでもらいたい。</p>
A委員	<p>1の(1)アやイなど、「・・・を」との末尾であると、後に何が続くのかと気になる。 何か意図があると思うので伺いたい。</p>
事務局	<p>「望みます」などであり、答申としての言い方をいろいろ考えてみた結果である。</p>
A委員	<p>ここはストレートに強調したいものを強調した方がよい。 「望みます」といったことがダイレクトに伝わるような表現があるとよい。</p>
C委員	<p>一番始めに「目指すべき姿」があつて、最初から「・・・望まれます」となっているのので、インパクトが弱いと感じる。 「・・・充実」で止めて、「を」をとった方が強く感じる。</p>
B委員	<p>「望む」「期待する」など、最後を動詞で止めた方が「・・・ます」よりもインパクトが強い。</p>
議長	<p>「ですます」調ではなく「である」調でよいか。</p> <p>【委員同意】</p>
B委員	<p>施設として、分館も当然であるが、本館を何とかしてほしい。 そして、図書館司書の大切さがある。</p>

	<p>本館は、カウンターと職員事務室が別の部屋となっていて見通すことができない。</p> <p>見通すことができれば、図書館職員や館長が、窓口でどのような問題が起きているか把握しやすいと思う。</p>
C委員	<p>新しい本館が必要であると記載するのではなく、答申に記載したことをやり遂げるには、やはり新しい設備が必要になると、結びつければよいのであり、文章はそのような流れになっている。</p> <p>こういうサービスを充実させるためには新しい施設や設備が必要となり、必要であれば、必然的にそれらについての議論が協議会で話し合われることになると思う。</p>
D委員	<p>1の(3)イについてだが、「地域全体の学力向上」は、どのような形になった時に成果となるのか。今回は在り方であり、具体的に行うのはこれからの話になるが、イメージを教えてください。</p>
事務局	<p>今、上尾市が得意としている幼児・小学生の事業をさらに充実させながら、弱い分野である青少年・ヤングアダルトについて、在り方やサービス計画の中に位置付けながら強化し、さらに、一般の人や高齢者も含め、全体が図書館を利用して、知の拠点としての活動に結びつけられるようにというようなイメージを持っている。</p> <p>また、生涯学習という観点から、一生涯、幼児から高齢者になるまで学び続け、それを還元していく循環というものがある。</p> <p>他方、図書館は誰でも来やすいところということに着眼し、そこから新たな活動や価値観を生み出していくようなイメージを持っている。</p>
B委員	<p>前回までの「教育力」の文言が「学力向上」になったとのことだが、そのまま「教育力」でよいと思う。</p> <p>「学力向上」であると、テストのようなものを受けるイメージが一般的である。</p>
D委員	<p>「学力向上」は、少し狭義な感じがする。</p> <p>もっと広く、学び自体を向上させるといったニュアンスであるとよいと思う。</p> <p>図書館を機能させるためには最新の情報提供が必要なので、それらを含めて広く「学び」というのはどうかと思う。</p>
副委員長	<p>「学力」というと、教育を受ける側の力が伸びるとの感じがする。</p> <p>「教育力」であれば、お互いの力、つまり学ぶ側も学びを提供する側も、両方上っていく意味であると思うので、「教育力」の方が、広い概念であると思う。</p> <p>広い概念という意味から言えば、「学びの力の向上」とか、そのような文言で広げた方がよい気がする。</p>
A委員	<p>「生涯教育」という言葉が、「生涯学習」という言葉に変わった。</p> <p>そして、今は「学び」という言葉に少しずつ変わってきている。</p> <p>「学び」という言葉はすんなり入ってくるのでとてもよいと思う。</p>
議長	<p>「学び」という言葉を使って、中教審で最近言われているのは、「学びの循環」である。</p> <p>学ぶことに出会い、それを図書館で人との出会いで深め、自分が熟達し、それをまた教えていく。</p> <p>いろいろな意味での循環という言葉をはひっかけているのであると思うが、「学びの循環」というのも一つの候補であると思う。</p> <p>「学びの循環」でよいか。</p>

事務局	<p>【委員同意】</p> <p>修正する。</p>
D委員	<p>1の(3)イについてだが、大学生やその辺りの世代まで広く利用できるような施設設備の整備・充実ということで目指していくとなると、(4)のアにも関連してくるが、第三の居場所としてのサードプレイスで、公衆無線LANの配備は若い人たちのニーズに合わせたサービスの提供になってくる。</p> <p>前後の繋がりが取れている文章構成になっているので、非常に分かりやすい。さらに深めてもらえるとよいと思う。</p>
議長	<p>三点あるが、まず一点目は1の(2)アに、「これらの実現にあたっては、関係各機関の協力・・・他図書館との連携強化」とあるが、レファレンスは司書にかかっているため、これらの実現にあたっては専門的な人材の育成など、人材面の話を入れてはどうかと考える。</p> <p>二点目は、1の(3)アに、「様々な人が集まる図書館の特性を生かし、社会教育の支援を」と記載してあるが、「社会教育の支援」というのは、社会教育ではないところが社会教育の支援をするといった印象を受けてしまう。</p> <p>図書館は社会教育施設の一つであるので、「社会教育の充実」ではないかと思う。次に、「公民館などの講座を図書館で行う」との記載は、そのまま公民館の講座を図書館に持ってきて行うようなイメージに受け取れるが、そういうことではない。</p> <p>図書館のイメージとして、様々な人が個人の立場で来ることができる、そして、あらゆる分野の森羅万象を知ることができる情報が集積している情報拠点という二つの特性があると思うので、「様々な人が集まる情報拠点としての図書館の特性を生かし」という言葉を補って欲しいと思う。</p> <p>そして、「公民館などの講座」ではなく「公民館で行っているような講座」とすればよいと思う。</p> <p>やはり、図書館は図書館なりのアレンジを加え、図書館らしい味つけをして、講座を実施する訳であり、公民館の人が図書館の場所を使用して同じ事業を図書館で行なっても、図書館らしい講座にはならない。表現を変えた方がよいと思う。また、最後に「地域の課題解決」とあるが、今までは「市民の課題解決」と言っていたのが、ここだけ文言が変わっている。「地域の課題」というと面的な課題であり、課題の中で少し狭くなっている。</p> <p>しかし、「市民の課題解決」とすれば、地域の課題も含めて、個人のこと、家庭のこと、仕事のことすべての課題を含む。よって、「市民の課題解決」でよいと思う。</p> <p>最後に、三点目は2の(3)だが、「専門的な知識の活用」との文言が引っかかる。</p> <p>「活用」は、別に活用しなくてもよいが、せつかくあるのなら活用しよう、ついでに活用しよう、といったイメージである。そうではなく、図書館には司書という専門職が中心的な役割を担うべきだという法律があるので、ここは、図書館の司書がいて、さらにスキルアップさせていくためにいろいろと行う、ということがにじみ出た表現の方がよいと思う。</p> <p>2行目に、「図書館司書の資格を持った職員などの専門的知識を活用し」とあるが、そうではなくて、「図書館司書の資格を持った職員などの高い専門的知識及び」の方がよいのではないかと思う。</p> <p>司書はまず現場に立ち、市民とやりとりをする中でいろいろなニーズを肌で感じて、本がどこにあるかを体で覚えて叩き込むといった実務経験が必要である。また、市長部局の他の課に行って広い視野を養ってくる、あるいは、日本図書館協会などで開催するいろいろな研修を通して勉強し、また他の図書館現場を広く見</p>

	<p>聞する視察研修もやらないと、本当の意味での力量のある司書が育成できない。よって、高い専門的知識と広い視野を養うといった文言を入れて欲しいと思う。また。「サービスの提供」を「質の高いサービスの提供」としてほしい。</p>
副委員長	<p>1の(3)アだが、「公民館などの講座」の部分は、様々な機関との連携、様々な機関のアイデアを図書館でさらに発展させた方がよいという意味合いであると思うので、「公民館などの関係各機関」とすれば少し広がると思う。</p>
議長	<p>公民館の講座を持ってくるというよりは、公民館を含む関係機関の講座を持ってくる、となるのでその方がよいと思う。</p>
C委員	<p>公民館が講座を行う場所が、公民館ではなく図書館と解釈できる。</p>
副委員長	<p>例えば、図書館の大きな会議室で音楽会をやってもよい訳だが、そうになると、音楽ホールと何が違うのかとなる。 図書館で行う意味は、一步表に出れば本があるので、関連する資料を手にとってみたり、または図書館の別の活動につなげていけるメリットがある。 公民館の料理教室を図書館で行うだけではあまり意味がないので、図書館的な要素でアレンジを加えて広げることができる。 図書館にはぶらりと来る個人がたくさんいるので、その人たちを取り込むこともできる。</p>
議長	<p>「公民館などの関係各機関と連携した講座を図書館で行う」でよいか。</p> <p>【委員同意】</p>
議長	<p>講座を平行移動して持ってくる、ただ単に施設を貸すということではない。関係する図書を展示するなど、図書館らしいアレンジが必要になってくる。そうすれば、展示してある本を見ていつもとは違った本を借りてみようと思ってくると思う。</p>
副委員長	<p>設備がなければ料理教室はできないが、図書館で料理教室を行うのはめずらしいことではない。</p>
B委員	<p>大谷公民館図書室では料理教室を行っていて、絵本の中に出てくるドーナツを作った後、図書室に行って絵本を観たりしている。 しかし、この本館では調理設備がないためできない。上平公民館と大谷公民館はできるが。</p>
議長	<p>県立熊谷図書館では音楽会を行っている。</p>
E委員	<p>1の(3)イだが、「若年」と「若者」が混在している。</p>
事務局	<p>統一する。</p>
E委員	<p>1の(4)アだが、「子供や子育て世代、ビジネスパーソン、高齢者」に「若年」を追加してほしい。</p>
事務局	<p>追加する。</p>
議長	<p>1の(4)アだが、「第3の居場所」の前に「家庭でも職場でもない」と書いてある。大人にとってはそういうことになるが、子供にとっては学校であると思う</p>

	<p>ので、補ってほしい。</p> <p>2の(4)に、「スタッフの意見に傾聴し」と書いてあるが、委託スタッフの意見を直接傾聴すると思ってしまう。</p> <p>よって、「スタッフ等から現場の実情を吸い上げ」といった表現にして、あくまでも委託している会社の者を介して吸い上げるとした方がよい。</p>
副委員長	今回、答申案がこのような形でまとまっているが、最終形は。
事務局	前回から少しスタイルを変えたが、今回は実際の答申のイメージである。
副委員長	今までは、4つの柱として「収集」「提供」「教育支援」「環境整備」といった資料に基づき、そこから議論に入ってきたので、これらの記載があれば、中身が分かりやすいと思う。
事務局	<p>今までは答申に向けての議論を進めていくうえで、委員の理解を深めるための資料となっていた。</p> <p>答申のスタイルを変えることや、補足資料という形で添付することも可能である。</p>
副委員長	<p>4つの柱は、我々が議論してきた枠組みである。</p> <p>前回資料の最初のページにある4つの柱があった方が、我々はそれに沿って議論してきたということがより分かりやすくなると思う。</p>
事務局	今の意見も踏まえて、形を整えたい。
議長	<p>諮問の文章があってこの答申が来る訳なので、冒頭から結論に入ってしまうと、どのような経緯でこういった結論が出てきたのかが省かれてしまっている。</p> <p>例えば、社会環境の変化やアンケート結果、本館分館の現状と課題などを整理してきたといったプロセスが、実際にはこの議論の中であったのだが、答申には全く記載がない。</p> <p>そのような部分に全く触れなくてよいのか。今までの議論があつてのこの結論であると思う。</p>
事務局	<p>最終的には、在り方についての結論の内容だけにしている。</p> <p>もう一度整理する。</p>
議長	今までの資料は、議事録と共にネットで見ることができるのか。
事務局	すべて見られるようになっている。
議長	<p>見られるのであれば、同じことを盛り込む必要はないのかもしれないが、答申に至る経緯のような項目を冒頭に設けないと、これだけではどこから答申が出てきたのか経緯が全然分からない。</p> <p>答申の本文を読めば、例えば社会環境の変化は、第2回の協議会資料を見ればよいと手繰っていける。</p> <p>答申の本文だけで全部を手繰っていけるような、それぞれの頭出しがあれば、プロセスが分かる。</p> <p>議論の過程は、答申に添付されるのか。</p>
事務局	過程については添付しない。
議長	議論の経緯をさらうような、少しでよいので何か記載があった方がよいと思う。

	<p>【委員同意】</p>
事務局	調整する。
F委員	1の(4)イの老朽化対策についてだが、まず本館の対策を行い、その後に上平に図書館機能を有する複合施設を建設するといった言葉がどこにも出てこない。それらを想定して価値を生み出せるような検討をして欲しいということで、意味としては含まれていると思うが、一言も出てこないのかと思う。まだ実態がないから出てこないのかと思うが、この中にそういうことも含まれているという、我々委員の気持ちが少しでも入って欲しいと思う。
議長	それは、上平の複合施設についての意見を入れてほしいということか。
F委員	検討して議論を行ったのに、そのことについて一言もないから寂しいと感じた。「複合施設に向けて」とか、何か一言欲しいと思う。
議長	この協議会は、図書館の施設について意見をいうのはよいが、図書館以外の施設について具体的な意見をいうのは範疇外であると思う。実際に意見が出たというのは事実であるが、文字として答申に書くとなると、図書館協議会の答申の枠をはみ出してしまうと思うが、事務局はどう考えているのか。
事務局	新図書館複合施設の計画が見直しとなり、建設用地であった上平の土地には、図書館分館機能を含む複合施設の検討を行っているとの経緯までは書けるが、具体的に上平の施設をどうしてほしいかについて書くことは難しい。目指すべき姿について意見をもらいながらまとめていく中で、上平の複合施設ができあがっていくというような感じで理解をいただければと考える。
F委員	協議会の中で意見が出たという証拠のようなものが欲しいと思っている。
事務局	先日、上平地区複合施設検討委員会の第2回目の会議に参加してきた。そこでは、図書館協議会では将来に向けて目指すべき姿としてこういうイメージをもっている、こういう意見をもらっているのだから、図書館としては上平地区複合施設を今後考えていく中で、それらを踏まえていく、との説明をした。そのことは、会議の議事録に載ってくる。
B委員	今までの議論の中身を分析すると、上平の話を多くしている。そこで、何かの形で書けないかと考えると、例えば1の(4)イに入れられないのかと思う。文言で「よいものを作ろう」「講習会を行いたい」などと書いても、結局は施設がなければできない訳である。我々委員の気持ちとしては、5回協議を重ねてきたが、やはり老朽化対策を急いで行ってほしい。対策が喫緊の課題になっている。そこで、「市の他の計画」のところに括弧書きで入れられないのかと思う。例えば「(上平地区複合施設)」など、その部分に何か入れられると思う。
事務局	組み込めるかどうか検討する。
副委員長	答申を出すに至ったプロセスを簡単でよいので書いてほしいと、改めて感じた。
事務局	事務局で考え、確認してもらって進める。

議長	「アンケート調査」とあるが、具体的にどのアンケートか分かるように、時期や対象者など記載した方がよい。
事務局	通常の利用者アンケートと、昨年7月に実施した全市的なアンケートがあるが、工夫して分かりやすいようにする。
議長	1の(2)アに、「市民の課題解消」と書いてあるが、解消することは恐らくないので「解決」とした方がよい。 <p style="text-align: right;">以 上</p>